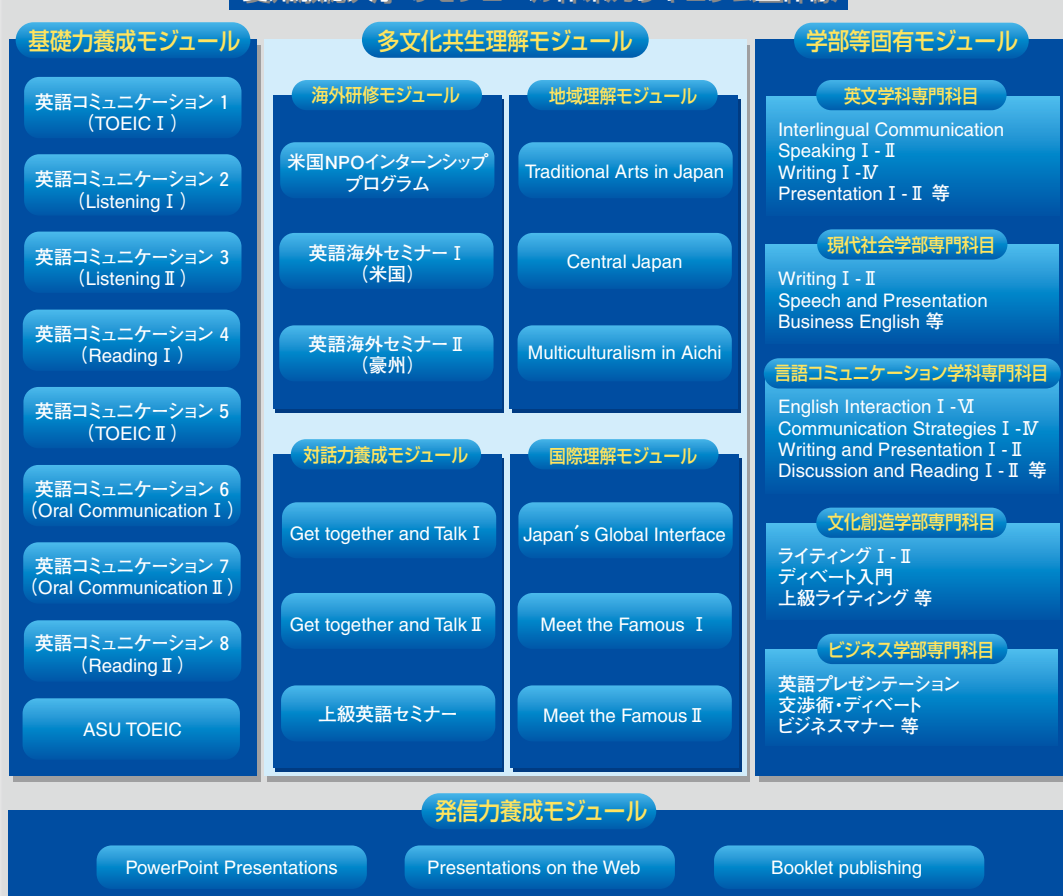


多文化共生を目指した発信型全学英语教育 ～モジュール化された体系的カリキュラム開発～

愛知淑徳大学のモジュール体系カリキュラム全体像



本学の新しい英語教育プログラムが
現代GP(文部科学省2005年度
現代的教育ニーズ取組支援プログラム)に選定されました

愛知淑徳大学の新しい英語教育プログラム「多文化共生を目指した発信型全学英语教育」が、文部科学省2005年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)「仕事で英語が使える日本人の育成」に選定されました。

現代GPとは文部科学省が開始したプログラムで、全国の大学から応募された取組から、特に優れた教育プロジェクトを選定し、財政支援をするものです。今年度は、全国509件の応募があり、その内86件が選定され、愛知淑徳大学のこのプログラムがその一つとして選ばれました。

■多文化共生社会への理解が目標

本学の教育理念「違いを共に生きる」に沿い、地球市民として国籍・歴史・人種・宗教・環境・性などの違いを尊重する教育を行う一環として、多文化共生社会への理解を目標とする英語教育を全学規模で実施します。この取組は、基礎力養成・多文化共生理解・発信力養成・学部等固有の4モジュールで構成されています。

これまで、全学生のための英語の基

礎力養成に力をいれてきましたが、

今後はそれにとどまらず、自らの地域の歴史・特徴を英語で学び、留学生や提携校の学生と英語で直接意見を交わしたり、国内・海外研修での体験を通して、国際社会における日本の位置づけを英語で学び模索します。

さらに、全学修学ネットワークにより、学部・学科の壁を越え、専門分野に対応できる英語力と、学修・研究成果を世界に向けて発信する能力を養成します。本学の学生の多角的な視点と柔軟な発想力を育み、さらに卒業後の道を大きく広げていく取組になっています。

■来年度から実施

2006年度から授業科目として本格的に実施しますが、2005年度後期にパイロットプログラムとして、世界で活躍している特別講師による講演、そして、2日間の英語研修と留学生と共に体験する1泊2日のフィールドワークからなる「留学生との対話実践セミナー」などを実施します。詳しくはホームページでご紹介します。学生の積極的な参加により、取組の成果が花開くことを期待しています。